

【南高祭 その2】「無限大の想いを、カタチに」～イスのサンケイホール鈴鹿・舞台発表報告～

9月9日、南高祭の舞台発表・ステージパフォーマンスを開催しました。前日までの校内公開の熱気を受け継ぎ、ホール全体が、南高生の手作りによる温かな空気と溢れる情熱に包まれました。生徒会の皆さんのリーダーシップが発揮され、一体感がすばらしかったです。

■ 鍛錬の結晶を見せてくれた文化部の集大成

ステージでは、日々の鍛錬を重ねてきた文化部が圧巻の発表を披露しました。

書道部のパフォーマンスを皮切りに、この夏、「あきた総文(全国高等学校総合文化祭)」日本音楽部門にて「優秀賞・文化庁長官賞」を受賞した箏曲部をはじめ、各部が情熱を結晶させたパフォーマンスを展開。聴衆の心を深く揺さぶりました。





■ 独自の発想で魅せた有志パフォーマンスと温かな一体感

有志グループによるダンスや音楽、工夫を凝らした演目も次々と登場しました。自分たちの「好き」や「表現したい想い」を堂々とステージでカタチにする姿に、客席からは惜しみない拍手と声援が送られ、会場は終始リスペクトと笑顔に満ちたアットホームな雰囲気にも満たされました。

■ 仲間とともに表現する価値

AIなどの技術が進化する現代だからこそ、自分の頭で考え、仲間と対話し、五感と情熱で一つのステージを創り上げた「人間ならではの創造力」は何物にも代えがたい価値を持つと思います。

平和の中で仲間とともに文化を楽しみ、想いを交わせる日常のかけがえのなさにも想いを馳せながら。



ホールを包み込んだ圧倒的な熱量と、仲間を称え合う温かい拍手。

南高生の「無限大 ∞ の可能性」を改めて感じさせる、感動的なフィナーレとなりました。

開催にあたり温かいご支援をいただきました保護者・PTAの皆様、地域の皆様、ホールの皆様、関係の皆様に、改めて、深く感謝申し上げます。